

春

昨年は、悠々たる大自然の中で生き活きと限りなく暮らす私たちにとつて、忘れることのできない、忘れてはならない衝撃の一年となりましたが、皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

7月12日、未だかつて経験したことのない豪雨は、雷鳴とともに先人たちが汗と涙で築き上げてきた生命の源である私たちの故郷を襲い、愛する家族や友、永年住み慣れた家々、普段の生活、そして多くの方々に感動と勇気を与え続けてきた素晴らしい景観を容赦なく奪い去っていききました。一瞬の出来事であり、この自然の猛威に啞然とし、人間の無力さを痛感させられた年でありました。

しかし今、多くのボランティアの方々、関係者の皆様方のご支援や市民の皆様方の復興に対する熱い思いが力となり、復旧から復興へと確実に歩み始めています。

そして被害に遭われた方々も、崩壊した山々や土砂に埋もれた田畑などその爪痕が生々しく残る中に、将来への大きな不安を抱えながらも、一日も早い生活再建を目指し懸命に頑張っておられ、そのお気持ちと逞しさに心を動かされ、責任の重さを感じています。

そのような中、国政においては新しい政権が誕生しました。しかしながら、未だ先行きの見えないデフレや雇用不安のみならず、原子力発電所の再稼働

問題、TPP交渉参加問題、東日本大震災被災地復興問題、尖閣諸島をはじめとする領土問題、沖縄の基地移転問題、また、消費税増税問題など、難題が山積する中での船出であり、全国民が安定した国の運営と地方の発展を望んでいます。

阿蘇市においても、災害復興に対する皆様方の熱い思いをしっかりと心に刻み、この平成25年を真の「復興元年」として、三度このような惨事を繰り返すことのないよう災害に強いまちづくり、安心・安全な地域生活の実現に向かって一生懸命進めてまいります。

今回このような大惨事となり、返す返すも無念でありませんが、全市民の皆様方と一体となり前進することによって、未来につながる魅力ある阿蘇を創り出すことが出来ます。千年に一度の豪雨であれば、これからの千年分の熱意と希望をもって、一刻も早い復興を目指し取り組んで参ります。今年^{みすのとし}は癸巳^{みづのとし}の年、再生の象徴として生物の成長の中で最高潮に達していることを意味し、次の生命が作られ始める時期とも言われています。

「龍頭蛇尾^{りゅうとうだび}」とならぬよう「常山の蛇勢^{じょうざんのだせい}」で復興が進みますよう、市民の皆様方のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様方にとって、健康で飛躍の年となりますことを心から祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

※龍頭蛇尾^{りゅうとうだび} 「頭は竜で尾は蛇」の意から、最初の素晴らしい勢いが最後は全くなくなることのとえ。尻すぼみ。

※常山の蛇勢^{じょうざんのだせい} 昔、中国の常山という山に率然という蛇がおり、その頭を撃てば尾が、尾を打てば頭が助け、胴を打てば頭と尾の両方が助けるということから、相互が協力して物事を進めることのとえ。

阿蘇市長
佐藤義興



迎

平成25年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月12日に発生した九州北部豪雨災害は、阿蘇地方に大量の降水をもたらし、わが市は全域で甚大な被害を受けました。豪雨災害によって犠牲となられました方々に衷心より哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたしますとともに、家屋の崩壊や床上浸水等、被災されました皆様に対してお見舞い申し上げます。

また、災害に際しまして瓦礫の撤去や泥の搬出などの作業にご協力をいただきました県内外のボランティアの方々、多くの義援金、心温まる支援物資を提供してくださいました個人、企業、自治体の方々に心よりお礼申し上げます。

議会は、これまで、地域の復旧復興のため根本的な災害対策と施策の実施を市当局と共に関係機関に対して要望を行うとともに、万全の対応、また早急な工事の実施を要請いたしました。犠牲になられた皆様に報いるためにも決してこの出来事を風化させず、必ず災害に強いまちを築いてまいります。

さて、当市の基幹産業である農林業・観光業におきましては、景気の低迷から脱することが出来ない状況の中、この度の災害により、多大なる打撃を受

けました。農林業は、農地や農業施設、山林、林道等が大きな被害を受けており、国や県の補助を得ながら復旧に取り組んでいかなければなりません。観光業は、宿泊施設の改修も進んでいまずので、風評被害に客足が遠のくことがないように、「元氣な阿蘇」を発信してまいります。

更に、災害復興と同時に最も緊急でかつ深刻な課題が「雇用の創出」であります。ふるさとで安心して暮らせるための雇用の場の確保こそが、実現しなければならぬ課題と痛感しております。そのためには、企業誘致はもちろんのこと、地場産業を主軸とする地域の生産性を高める方策を、皆様とともに実現する取り組みを進めていきます。

豪雨災害を受けて、これから数年は復興のために多くの時間と労力を費やせねばなりません。まずは一日も早く復旧をはたし、安全、安心なふるさとの再構築に努めてまいりますので、議会に対し、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

皆様方におかれましては、今年一年が平和で幸多き年になりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

阿蘇市議会議長
田中 則次

